

11月号伊藤守夫様の3頁表-3のスギK濃度が誤っていましたので
下記のように訂正いたします。

処理	スギ					ヒノキ				
	N	P	K	Ca	Mg	N	P	K	Ca	Mg
A	0.97	0.16	1.09	0.86	0.11	1.05	0.10	0.93	0.61	0.10
B	0.80	0.26	1.05	0.93	0.13	0.76	0.22	0.93	0.71	0.09
C	0.78	0.19	1.09	0.94	0.13	0.78	0.17	0.95	0.61	0.12
D	0.81	0.28	1.27	0.90	0.11	0.76	0.25	0.89	0.77	0.14

マイクロコンピューターに乗った肥料

チッソ旭肥料(株)のロング、ハイコントロール、LP、マイスターはマイクロコンピューター(以下マイコン)で、その肥料成分の溶出が予測出来ると知り、筆者はまったく不勉強で驚いたしたいです。そこで種々勉強させてもらった結果次のようなマイコンの資料利用が出来ることが分かりました。使用現場の月別地温又は気温が分かれば、何カ月でどの程度の成分溶出が予測出来るのかを示すのが次の事例です。このような肥料は日本の肥料業界は無論、世界でも初めての事だと思います。(読者の諸先生方は充分御存知と思いますが)多に利用してみてください。今回は事例として非農業部門に最も多く利用されているハイコントロールについて紹介させていただきます。

例：ハイコントロールA180の現場応用

ハイコントロールA180は土壤温度25°Cで180日間かかって成分N(P₂O₅・K₂O)が80%溶出するタイプです。然し現場によって温度の高低があります。そこで関東のG県I K. カントリークラブの月平均温度をとり、施肥時期により、何日間位でハイコントロールの成分が80%溶出するかをマイコンで算出した事例が次の図です。

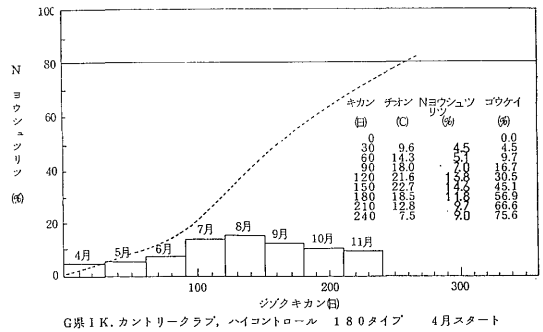
* G県I K. カントリークラブの例

図表1 4月施肥、(240日間で約80%の成分溶出)即ち240日間の肥効持続があります。

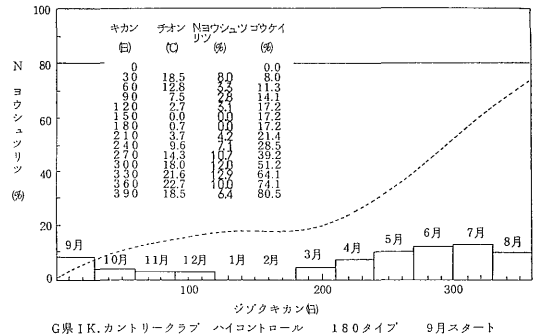
図表2 9月施肥、(390日で約80%の成分溶出)即ち390日間の肥効持続があります。

以上は芝生管理条件により地温が多少異なりますから約±10%の溶出幅をみて下さい。

図表 1



図表 2



(注)……希望者は月別地温(又は気温)、施肥時期の連絡をいただければ、施肥時期から何日間の持続性があるか、マイコン資料の提供が出来ます。又上の資料のない方は場所と施肥時期を連絡いただければ、気象庁の資料から標高温度修正をして資料提供が出来るとの事です。